

森(もり)・盛(もり)・オホーツク



No. 12 平成28年5月23日

林野庁 北海道森林管理局

常呂川森林ふれあい推進センター

緑のセンターでパネル展

クラフトも作成！

5月12～18日、北見市緑のセンターで森林ボランティア「オホーツクの会」の協力を得ながら、パネル展示を行いました。

これは、「春の花と緑の園芸祭」（北見園芸協会主催）に協力して行ったもので、ザゼンソウやエゾエンゴサクなど30枚の「森に咲く花」や常呂川FC及び「オホーツクの会」の活動内容のパネル展示と合わせ、開催期間中の土・日（14・15日）には、マツボックリ等を利用したクラフト作りも行いました。



また、「オホーツクの会」の会員が作成した本物と見まがうようなクラフトも展示され、来場者の目を楽しませました。

来場者からは「これらは全部オホーツクの森にあるんですか」「白いエゾエンゴサクは珍しいですね」「コミヤマカタバミは見たことがない」などの質問や感想がありました。

クラフト作成では、「竹とんぼ」やカラマツのマツボックリを利用したフクロウやエゾマツのマツボックリのイヌなど、木の枝や輪切りをグルーガンで接着して完成！「孫と一緒に来て楽しい思い出になりました」「楽しかった」「子供といっしょに出来て良かったです」などの感想がありました。

こどもフェスタ（ネイパル北見）

ロケットラウンが大人気！

5月1日（日）、ネイパル北見（常呂町栄浦）の要請を受けて「こどもフェスタ」に参加してきました。

「こどもフェスタ」は毎年、こどもの日前後に行われているネイパル北見の主催による人気事業で約500人が集まります。



常呂川 FC ではマツボックリなどを利用したクラフト作成と合わせて、飛ぶ種の模型（ロケットラウン、アルソミトラマクロカルパ）を実施しましたが、ロケットラウンは用意した2箱を使い切るほどの人気でした。

また、今回の参加にあたり、森林ボランティア「オホーツクの会」の協力をいただきました。

森に咲く花 NO.5

<フッキソウ>

漢字で書くと「富貴草」で、高さ 20 ～ 30cm と小さいし、「草」のようにも見えますが、これでも一人前（？）の常緑小低木です。

草と木の違いは、大きさには関係なく「木質」があるかどうかで、大きなバナナの**木**は「**草**」で、きれいな花のラベンダーは「**木**」…??。

雌雄同株で花弁（花びら）はなく、茎の上部に雄花、下部に雌花をつけます。

秋に乳白色のほんのり甘い果実をつけますが、種は有毒ですので飲み込まないように注意しましょう。



北海道森林管理局 常呂川森林ふれあい推進センター

090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3

TEL 0157-23-2960 FAX 0157-26-2144

http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/tokorogawa_fc/